

新 年



富士見町長 小林一彦

平成二十八年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年は五十年ぶりに台風が毎月発生し、特に七月から九月にかけて巨大勢力の台風が四個も上陸するとともに、日本列島に何日も停滞し全国的に大きな被害をもたらしました。幸い富士見町には大きな被害はありませんでした。しかし、台風以外では夏の猛暑と長雨が繰り返され、作物の収穫量が平年を下回る状況でした。地球温暖化による異常気象の怖さを強く感じる年だったと思います。今後予想もしないような気象災害が起こる可能性が増大し、より一層の防災力を高める必要性を感じています。

今年度から第5次総合計画、地方創生戦略を本格的に始動いたします。スローガンである「まち、ひと、しごと」を元に、雇用増大・移住促進・出生数増により、今後五年間は人口維持を目指し、様々な改革的な施策を町民の皆様とともに進めたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様にとって、今年がより良い年になることをお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

賀

謹



富士見町議会議長 加々見 保樹

新年あけましておめでとうございます。議会を代表しまして年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年4月に町議会議員選挙が執行されました。結果、新人4名・現職7名が選ばれ新たな議会を形成しました。今回は選挙になり町民の審判を受けたことで、町民の代弁者としてその責任の重さを全議員痛感しております。

昨年は富士見町の進路を定める第5次総合計画樹立の年であり、議会では特別委員会を設置し内容の審査を行いました。また町では国からの指示による「人口減少と地域経済縮小の克服」を目的とする地方版総合戦略を策定しています。議会もこの大きな課題には行政と一緒に頑張って町の創生のため議会の使命を果たしてまいります。

今年は大祭「御柱祭」の年です。一本の巨木を曳航するため住民が団結・絆を強める祭りであります。そのエネルギーとパワーの祭りを契機に富士見町がさらなる発展をすることと、皆様方にとって幸多い年になりますようお祈り申し上げます。